

眠りの川

全てが安らぎの中にあるような
そんな眠りを口に含んだなら
君はどんななお表情をするかしら

何も装うことなく
纏うことなく
まるで赤子のような眠りの中では？

あらゆる事々が
僕をも、忘却へと
一時的に預けられた際には？

その小さな寝息をこの肌に受けていたなら
その体の重さの全てを支えていたなら
そんなふうに全てを委ねられたなら？

(2000. 7.)